

感染対策 ICT ジャーナル Vol.17 No. 1 2022 winter (2022 年 1 月発行)

Special feature

スマートな実践のための 汚物処理ソリューション

■ Statement

日本の汚物処理室のリアル—感染のリスクアセスメント 吉田理香

■ Update 汚物処理室のファシリティ

- ①汚物処理のシステム—リユースかディスプレイか、最新の考え方を知る 今川嘉樹
②汚物処理機器・設備のデザイン—最新の製品規格・特徴を知る 大石貴幸

■ Basic 汚物処理室のマネジメント

- ①設備設計のプランニング—汚物処理室の構造と大型機器・シンクの配置 富田 学
②日常管理のポイント—汚物処理室の環境整備と環境調査 有村尚子

■ Procedure

患者周囲の汚物処理テクニック—現場から汚物処理室までのピットフォール 坂本麗花

■ Solution 1 尿器・便器処理『ベッドパンウォッシャー』

- ①ベッドパンウォッシャーの基本—エラーポイントから見る正しい使い方 中家聖子ほか
②ベッドパンウォッシャーの洗浄度—容器形状から見る残留リスクとその対策 久保木修
③ベッドパンウォッシャーの運用—コストパフォーマンスを含めた機器管理 須川真規子

■ Solution 2 尿器・便器処理『マセレーター』

- ①マセレーターの知識—海外での使用状況と日本での将来ビジョン 嶋 雅範
②マセレーターの導入—使用の実際とメリット・デメリット 飯塚智彦

■ Concern

高齢者施設の汚物処理マネジメント—プロの見た現状と現場へのアドバイス 野澤寿美子

感染対策 ICT ジャーナル Vol.17 No. 2 2022 spring (2022 年 4 月発行)

Special feature

物・人・事から組織まで 総力で臨む手指衛生戦略

■ Introduction

モダン『手指衛生論』—手指衛生の基本戦略とこれからの在り方 藤田 烈

■ Update 1

- 手指消毒薬製品の最新知見
—低刺激性・非アルコール性の効果を踏まえた製品選択の手がかり 中川博雄

■ Update 2

- オゾン水による手洗いの最新知見
—オゾン水は有機物存在下でも手指衛生に使用可能か? 仲村 突ほか

■ Manpower 手指衛生の人材戦略

- ①観察者育成とリンクスタッフ教育 森野幸代
②指導者養成トレーニング(TTT)の最前線
—ジュネーブ大学による手指衛生指導者育成セミナーを知る 坂本健一ほか

■ Monitoring 手指衛生のモニタリング戦略

- ①モニタリングの基礎理論—手指衛生戦略の評価指標について 崎浜智子
②IoT 技術によるモニタリング—システム概要と手指衛生管理の実際 松山千夏ほか

■ Organization 手指衛生の組織戦略

- ①組織的な手荒れ対策と手指衛生遵守率向上の取り組み 平山雅士
②院内感染対策としての石けんによる手洗いの重要性と取り組み 橋本昌宜ほか

■ Actual JCI 認証施設に学ぶ手指衛生向上・維持の戦略

- ①国際的医療機能評価(JCI) 認証取得に向けた手指衛生遵守率向上の取り組み 豊留有香ほか
②救急外来・集中治療室の手指衛生遵守率向上の取り組み 石塚孝子
③医師・薬剤師・放射線技師の手指衛生遵守率向上の取り組み 小松崎直美

感染対策 ICT ジャーナル Vol.17 No. 3 2022 summer (2022 年 7 月発行)

Special feature

確実な供給のための 最良の再生処理・単回使用

■ Statement

感染制御における再生処理の重要性
—最新ガイドラインから読み解くチェックポイント 水谷 光

■ Basis 最良の滅菌保証を知る

- ①バリデーションとトレサビリティ
—なぜ必要で、どう実施するのか? 久保田英雄
②インジケータの役割
—どんな原理で、どう使い、どんな製品があるのか? 石野直己ほか

■ Update

再生処理装置の最新事情
—使用にあたっての背景・前提・選定・バリデーションする際のポイントまで 小林 誠

■ Central supply 最良の再生処理業務を導く方策

- ①再生処理業務のシステム化—中央材料部門の課題と解決策 酒井大志
②人と仕組みと再生処理業務の舞台裏 齋藤 篤

■ Suggestion

歯科領域における再生処理—歯科クリニックの課題と器材管理の実際 畑 了子

■ Focus 最良の内視鏡の再生処理・単回使用

- ①消化器内視鏡における感染対策、本邦における歩みと課題 佐藤 公
②内視鏡の洗浄・消毒の実際 山田雅子ほか
③救急/集中治療領域における単回使用型の気管支内視鏡 早川峰司
④内視鏡の感染制御—管理体制の構築、教育・JCI 認証取得の取り組み 梶川智弘

■ Topic

再製造単回使用医療機器(R-SUD)の今
—日本の現状・課題、そして今後の展望 大久保憲

感染対策 ICT ジャーナル Vol.17 No. 4 2022 autumn (2022 年 10 月発行)

Special feature

感染対策成功のための 皮膚の清潔・健康管理

■ 患者の皮膚の障害と清潔・健康管理

- ①皮膚消毒製品の種類と使い分け 四宮 聡
②固定製品による皮膚障害とその対策 今崎美香
③血管内留置カテーテル挿入部の皮膚管理—皮膚障害と消毒方法 目崎 恵
④尿道カテーテル留置部位の皮膚管理—皮膚障害と消毒方法 小林史博
⑤術野消毒の知見とそのポイント 北川雄一
⑥新生児の皮膚管理—固定製品・消毒薬・マネジメントの注意点 木下大介

■ 医療従事者の手指の清潔・健康管理

- ①医療従事者の皮膚障害と医療への影響—感染リスクと予防の重要性 高山かおる
②手袋によるアレルギーとその対策 宇賀神つかさ
③手指衛生遵守率向上の観点からの手指消毒剤選択 小倉明子
④感染対策とハンドケア 坂本晴世

感染対策 ICT ジャーナル Vol.18 No. 1 2023 winter (2023 年 1 月発行)

Special feature

新型コロナウイルス時代における 医療施設環境対策

■医療環境の空調・換気整備

- ①病院施設における空調・換気設計 郡 明宏
- ②新型コロナウイルス感染症に対する換気測定の技術・指標とその運用 高野知憲ほか
- ③病院で対応可能な換気方法の具体例 小田原美樹
- ④クリニックで対応可能な換気方法の具体例 西田典子
- ⑤高齢者施設・長期療養施設で対応可能な換気方法の具体例 原國政直ほか

■医療環境表面の清掃・消毒

- ①新型コロナウイルス感染症の登場により環境清掃・環境消毒をどう変えていくべきか 秋根 大ほか
- ②変異株により環境表面の新型コロナの活性はどのように変化しているのか？ 廣瀬亮平ほか
- ③環境消毒薬の種類と環境拭きクロスの選択 片岡盛将
- 非接触式環境浄化(消毒)法の種別と使用上の注意点
- ①紫外線照射(UV-C, PX-UV, 222nmUV-C) 森美菜子
- ②蒸気化過酸化水素 田辺正樹ほか
- ③過酸化水素ドライミスト噴霧 谷津亮祐ほか

感染対策 ICT ジャーナル Vol.18 No. 2 2023 spring (2023 年 4 月発行)

Special feature

施設・場面など特性に合わせた 感染対策の工夫

- ①精神科病院の特殊性と感染対策 鈴木健一
- ②神経難病患者における感染対策 徳永恵美子
- ③重症心身障害児(者)へのパブル方式による療育活動 高野周作
- ④NICU・GCUにおけるMRSAアウトブレイクゼロを実現した多角的対策 石田彩子ほか

- ⑤国際空港検疫から外国人の入院がある病院での感染対策 野崎裕広
- ⑥クリニック勤務ICDによる感染対策改革 岡村武彦ほか
- ⑦離島診療所におけるCOVID-19に対する追加的感染対策 山中裕介
- ⑧災害発生時に必要な実践的感染対策 櫻井 滋
- ⑨『個人防護具適正使用習得者認定制度』の構築と活用 一ノ瀬直樹
- ⑩耐性菌の流入リスクと拡大防止戦略「感染対策バンドルセブン」 小野寺直人ほか
- ⑪手洗い推進における無添加石けんの意義 大庭奈未代ほか

感染対策 ICT ジャーナル Vol.18 No. 3 2023 summer (2023 年 7 月発行)

Special feature

コロナ禍で浮き彫りとなった
高齢者施設・精神科病院の感染対策

■高齢者施設の感染対策

- ①高齢者の特徴、問題となる感染症 中村 敦
- ②感染症持ち込みの予防、発生早期発見の方策 岡田恵代
- ③クラスター(アウトブレイク)発生時の対応 萩野貴志
- ④換気対策(エアロゾル感染対策)を含めた経路別予防策 川村英樹

- ⑤環境消毒の現状と課題への取り組み 中澤友也
- ⑥手指衛生遵守率向上の取り組み—急性期病院に勤務する感染管理担当者の介入 浅野美奈子ほか

■精神科病院の感染対策

- ①精神科患者の特徴と療養の特殊性 鎌信憲明
- ②感染症持ち込みの予防、発生早期発見の方策 川内健史
- ③クラスター(アウトブレイク)発生時の対応 西村和子
- ④個人防護具着脱・手指衛生向上と物品の管理 富田 泉ほか
- ⑤換気と環境消毒—構造の特殊性、一般病棟との違い 池ヶ谷訓章

感染対策 ICT ジャーナル Vol.18 No. 4 2023 autumn (2023 年 10 月発行)

Special feature

耐性菌の最新動向・感染対策とAST

■耐性菌の最新発生動向と感染対策のポイント

- ①メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) 詫間隆博ほか
- ②バンコマイシン耐性腸球菌(VRE) 戸叶美枝子ほか
- ③ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP) 酒井 純ほか
- ④多剤耐性アシネトバクター(MDRA) 堀野哲也

- ⑤基質特異性拡張型βラクタマーゼ(ESBL)産生菌 鈴木克典
- ⑥カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE) 原田壮平
- ⑦多剤耐性緑膿菌(MDRP) 森島雅世ほか

■抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の役割

- ①医師の立場から 千酌浩樹
- ②薬剤師の立場から 植田貴史
- ③看護師の立場から—特定行為研修修了者の観点も含めて 小野寺隆記
- ④臨床検査技師の立場から 大城健哉